

平成 25 年 2 月 25 日

厚生労働省
医政局看護課長 様

一般社団法人全国保健師教育機関協議会



第 99 回保健師国家試験の出題内容について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、保健師教育にご配慮いただき、厚くお礼申しあげます。

また、全国保健師教育機関協議会の活動に特段のご理解ご協力を賜り、感謝しております。

さて、2月15日に行われました第99回保健師国家試験について、当協議会会員校から寄せられた意見を集約し、別紙の通り検討しましたのでお届けいたします。

是非、ご検討いただけますよう、お願い申し上げます。

I 不適切問題

【午前】

問題番号	理由	コメント
問題 50	2つの正答がない。	2は、検便対象者として全家族は不適切であり、正しいとはいえない。 3は、自宅のふき取り調査は優先しない。 4は、喫食調査は全児に行う。 5は、1週前の起点が曖昧である。 ゆえに、正答は1のみである。

【午後】

問題番号	理由	コメント
問題 11	正答が複数ある。	プロセス評価は目標設定を含むものであり、1も2も正答となる。
問題 42	正答が複数ある。	セルフヘルプグループの発展段階の初期には、専門職の積極的な関わりが必要であるため3は正答と考えられる。しかし、保健師が中心となるという表現は適切ではない。 一方、A市の保健師が立ち上げに関わるためにグループ対象者をA市在住に限定する2も正答と考えられる。

II その他改善を要する問題

【午前】

問題番号	理由	コメント
問題 9	設問の主旨が理解しにくい。	特別支援学校の何を問うているのかが不明確である。 出題基準の項目が異なる選択肢が含まれており、それを正答としている。

Ⅲ 全体について

1) タキソノミーレベルⅠ(単純想起型)の問題は午前55問中14問、午後55問中13問であり、前年よりも減少している。しかし、看護師教育の知識で解答できる問題(午前7、17、午後7、17)や一般常識で解答できる問題(午後10、15)がみられ、全体として易しい。

2) 一般問題で状況設定によって推測や判断を必要とする応用的な良問が増えている(午前37、午後32)。一方、状況設定の情報の不足により出題の主旨が理解しにくい問題もみられた(午前43、55)。また、状況設定の情報量が少なすぎる(午前44～46)、前文の情報が設問に活かされていない(午後44～46)、3連問の1問の難易度が低すぎるなど完成度が低い問題がみられ、改善を要する。

3) 個人・家族の健康課題から発展し、地域全体の課題を解決するための活動を考えさせる出題や(午前11)、活動の評価(午後11、12、30)の出題が増加した。また、放射線の安全管理や災害対応のテーマ(午前16、18、午後32)は、時代に即した良問であり評価できる。

4) 疫学・保健統計の図表でデータを示す出題や、計算により解答を導き出す出題によって情報アセスメント力や評価能力を測ることができる(午前24、53、午後35)。客観性を求められる国家試験では、疫学・保健統計の情報を提示し、それを解釈・判断した上で、健康課題の解決に向けた保健活動の展開方法や実施後の評価を問うことが重要である。疫学・保健統計と看護学を統合した状況設定問題の増加が求められる。

5) 第99回より午後の状況設定問題が5問増加し、解答時間が15分延長され、計算問題のマークシートの解答形式が変更されたが、それによる受験生の負担があったという声は届いていない。